

授業科目 近現代史

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護
小 川 幸 代		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GI0】 19世紀以降の歴史から、日本の近代化過程を見ていく。 産業革命の進んだ欧米列強諸国が日本へ開国を求めてやってくるようになり、国際情勢と国内事情を考えた日本は開国した。国の体制は変わり（明治維新）、独立国であり続けるための努力がなされた。アジアにあって列強諸国と肩を並べていこうとする中で、中国や朝鮮をめぐる列強諸国と対立するようになった。資本主義の発達と社会主義国の成立によって、日本人を含む世界の人々はかつて経験したことのない世界中を巻き込む戦争を経験した。21世紀が明けた今、われわれが住む地球上には環境問題をはじめとして難問が山積しており、日本もその解決の責務を負っている。					
【学習目標・行動目標：SB0】 歴史を学ぶことは、現在を知り、未来を考えることでもある。そのために、事実は何かを認識し、なぜそうなったのかを考えていく。各テーマについて、教科書を読んで考えて講義に出席し、発問に答えたり質問したりして理解を深めていく。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業の進め方、教科書の使い方				講義
2	化政文化から見えてくるもの（１）				講義
3	化政文化から見えてくるもの（２）				講義
4	明治維新を日本人はどう受け入れたのか（１）				講義
5	明治維新を日本人はどう受け入れたのか（２）				講義
6	日清・日露戦争によって何が変わったのか（１）				講義
7	日清・日露戦争によって何が変わったのか（２）				講義
8	二つの世界大戦で日本はどのような立場にあったのか（１）				講義
9	二つの世界大戦で日本はどのような立場にあったのか（２）				講義
10	占領下の日本はどのようにして独立国への道を切り開いたのか（１）				講義
11	占領下の日本はどのようにして独立国への道を切り開いたのか（２）				講義
12	戦後の国民教育の中で、何を教えられ、何を考えてきたのか（１）				講義
13	戦後の国民教育の中で、何を教えられ、何を考えてきたのか（２）				講義
14	歴史認識のズレが引き起こす国際摩擦について考える				講義
15	まとめ				講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		詳説日本史研究 改訂版		佐藤信・五味文彦・ 高埜利彦・鳥海靖 編	山川出版社 2008・2,381円＋税
参考書		適宜、紹介する。			
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席、受講態度（発言も含む）、期末試験によって評価する。					